

Mn2+-依存性ADP-リボース/CDP-アルコールニリン酸加水分解酵素

Cat. No. EXWM-4625

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 Mn2+を必要とします。EC 3.6.1.13のADP-リボースニリン酸加水分解酵素とは異なり、Mg2+を利用することはできません。この酵素の基質はADP-D-リボース、CDP-コリン、CDP-エタノールアミンおよびADPですが、ADP-D-グルコース、UDP-D-グルコース、CDP-D-グルコース、CDP、CMPおよびAMPは加水分解されません。ラットでは、この酵素は主に胸腺と脾臓に存在します。

別名 Mn2+-依存性ADP-リボース/CDP-アルコールピロリン酸加水分解酵素; ADPRibase-Mn

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.6.1.53

反応 (1) CDP-コリン + H₂O = CMP + ホスホコリン; (2) ADP-D-リボース + H₂O = AMP + D-リボース 5-リン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。